【参考資料4】2025年大阪・関西万博に向けた交通バリアフリーの推進について（2023年９月）

目次

（1）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【鉄道（駅舎）】

　　万博までに整備予定である鉄道（駅舎）の取組を紹介する。

（2）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【鉄道（車両）】

　　万博までに導入されている新造車両を紹介する。

（3）鉄道駅バリアフリー料金制度等を活用した取組

鉄道駅バリアフリー料金制度等を活用し整備予定である各鉄道事業者の取組を紹介する。

（4）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【空港】

　　関西国際空港、大阪国際空港での取組を紹介する。

（5）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【港湾施設】

港湾施設の取組を紹介する。

（6）2025年大阪・関西万博開催に関連するバリアフリーの取組【万博会場】

　　万博会場におけるバリアフリーの取組を紹介する。

（１）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【鉄道（駅舎）】

万博までに整備予定である鉄道（駅舎）の取組を紹介する。

①夢洲駅　（株）大阪港トランスポートシステム（北港テクノポート線【Osaka Metro（中央線）延伸】）

2025 年に開催される、日本国際博覧会への主要交通手段として、コスモスクエアから夢洲間の開業に向けた鉄道事業に取り組まれている。

＜整備内容＞　※2024年度中に開業

・可動式ホーム柵の設置

・広い通路幅（コンコース階の通路幅約17ｍ）

・カームダウン・クールダウンスペースの設置

・バリアフリートイレ、オールジェンダートイレの設置

図：2024年度に開業する駅舎のイメージ

②弁天町駅　JR西日本（大阪環状線）

来場者輸送における乗換安全性を向上するほか、既存施設の老朽化やバリアフリー課題の解消を実現に取り組まれている。

＜整備内容＞　※2025年春工事完了予定

・新駅舎を整備し、新改札口を設置

・エレベーター・エスカレーターの増設

・バリアフリートイレの設置

・ Osaka Metro弁天町駅東口改札への「連絡通路」の整備

　⇒段差なくスムーズな乗換が可能

・ホーム柵の設置

図・写真：2025年春工事完了のイメージ

③弁天町駅　Osaka Metro（中央線）

2025年に開催される大阪・関西万博に向け、Osaka Metro 中央線 弁天町駅でJR大阪環状線との乗換え経路を改良し、万博会場へのアクセスが向上される。

＜整備内容＞　※2025年１月末工事完了予定

・ JR大阪環状線 弁天町駅内回りホームへの連絡通路

　⇒段差なくスムーズな乗換が可能

・可動式ホーム柵の設置

写真：可動式ホーム柵のイメージ

図：連絡通路の位置を示す

④大阪梅田駅　阪神電車

＜整備内容＞　※可動式ホーム柵(１,２,３番線)：整備済

　　　　　　　　　　　　※可動式ホーム柵(４番線)：2024年春工事完了予定

・ホームの拡幅

・可動式ホーム柵の設置

・車両とホームのすき間対策（櫛状ゴムの設置）

・エレベーター及びエスカレーターの設置

・視覚障がい者誘導用ブロックの敷設

・音案内の設置

　　写真：可動式ホーム柵の写真

④新大阪駅　JR東海

＜整備内容＞　※可動式ホーム柵：整備済

　　　　　　　　　　　　※隙間・段差対策：2025年３月完了予定

・可動式ホーム柵の設置

・車両とプラットホームの段差・隙間対策

　（２２～２７番線 １１号車乗降口）

　⇒渡り板を設置していない状態でも、車いすで利用可能

　　写真：可動式ホーム柵の写真

　　写真：段差・隙間対策の写真

⑤鶴橋駅　近畿日本鉄道

＜整備内容＞　※2025年３月末完成予定

・昇降ロープ式ホームドアを設置（２番線）

写真：可動式ホーム柵の写真

⑥「スマホでインターホン」　京阪電車

お客さまがご自身のスマートフォンを介して駅係員と音声通話できるほか、ビデオ通話や文字によるチャット形式の対話も可能であり、耳の聞こえづらいお客さまにも快適にご利用いただける。

写真：スマホでインターホンを読み取っている様子

⑦桜島駅　JR西日本

桜島駅からシャトルバスへの乗換安全性を向上するため、万博開催期間限定で駅改良が実施される。

⑧大阪駅（うめきた地下駅）　JR西日本

特急「くろしお」「はるか」とおおさか東線の列車が大阪駅（うめきた地下駅）に乗り入れることにより、大阪駅の拠点性がさらに高まり、関西エリア全体のネットワークがより強化される。

＜整備内容＞　※2023年３月18日開業

・新改札口の整備

・新たなバリアフリールートの整備

　（エレベーター・エスカレーター）

　　写真：新改札口の写真

図：改札内連絡通路の場所を示した図  
・視覚障がい者向けナビゲーションシステム「shikAI」（写真：shikAIのイメージ）

点字ブロック上に設置したQRコードを、お手持ちのスマートフォン上の専用アプリで読み取ることで、事前に設定した目的地までの点字ブロックの経路を音声で案内する。

・マルチフルスクリーンホームドア（写真：マルチフルスクリーンホームドアのイメージ）

停車した列車の乗降位置にあわせて自由自在に開口を構成することができます。扉部のスリム化によりホーム上の通行スペースを広く確保することができる。

・AI自動応対機能を搭載した、みどりの券売機 「みどりの券売機プラス＋AI」

（写真：みどりの券売機プラス＋AIのイメージ）

画面に投影されるキャラクターとの対話を通じ、音声による操作できっぷの購入が可能。

・AI案内ロボット（写真：AI案内ロボットのイメージ）

AIアシスタント（AyumI）が、お客様からのご質問を音声認識により内容を理解し、音声や画面投影を通して、周辺施設や出口、乗り換え情報等のご案内を行う。

（2）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【鉄道（車両）】

万博までに導入されている新造車両を紹介する。

①＜新造車両の導入＞　Osaka Metro　中央線

・車両の低床化

・ドア部の床に黄ライン

・ドアの開閉をチャイムとランプの点滅でお知らせ

・優先座席の明確化

・開いているドアの位置を知らせる誘導鈴の設置

　　写真：車両の外装、内装イメージ

（3）鉄道駅バリアフリー料金制度等を活用した取組

鉄道駅バリアフリー料金制度等を活用し整備予定である各鉄道事業者の取組を紹介する。

①Osaka Metro【2021～2035年】の取組

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **2021　～　　2025** | **2026　～　　2035** |
| 可動式ホーム柵の設置 | 72駅147番線 | ― |
| エレベーターの設置（複数ルート確保） | 16駅19基 | 20駅33基 |
| ホームかさ上げ・くし型ゴム設置 | 74駅151番線 | 11駅22番線 |
| エスカレーターの設置 | ― | 15駅20基 |
| 音案内設備の設置 | ６駅 | 112駅 |
| サービス情報表示器の設置 | 83駅152改札 | ― |
| 車両の低床化 | ― | 18編成180車両 |

②阪神電鉄【2021～2042年】の取組

|  |  |
| --- | --- |
|  | **2021　　　　　　　　　～　　　　　　　　　2042** |
| ホーム柵（可動式又は固定式）の設置 | 2042年度頃までに全駅に整備予定 |

③JR西日本（大阪市内）【2021～2027年】の取組

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **2021　～　　2025** | **2026　～　　2027** |
| 可動式ホーム柵の設置 | 西九条駅 | ５駅12番線 |
| ホーム安全スクリーン※の設置 | 13駅39番線 | ８駅19番線 |
| ホームと車両床面の段差隙間縮小 | 大阪環状線６駅14番線 | ― |

※転落時列車抑止システム

④阪急電鉄（大阪市内）【2021～2035年】の取組

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | **2021　～　　2025** | **2026　～　　2035** |
| 可動式ホーム柵の設置 | ― | 11駅43番線 |
| エレベーターの設置 | ― | １駅２基 |

（４）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【空港】

関西国際空港、大阪国際空港での取組を紹介する。

①関西国際空港（KIX）、大阪国際(伊丹)空港（ITM）（予定）

＜整備内容＞

【搭乗橋更新に合わせて実施】

・段差のない搭乗橋を導入

　（関西国際空港第1ターミナル：16基改修済）

　（大阪国際空港：R5年度4基改修完了予定）

【関西国際空港（KIX）第1ターミナル(T1)リノベーション工事に合わせて実施】

　※2025年春グランドオープン（主要機能完成）

・ウイング先端エリアの到着動線にエレベーターを新設

・改修する階段の二段手摺化

・カームダウン・クールダウンスペースの設置

・新設するトイレにおいて手動車いす対応ブース、車いす洗面対応、出入口での音声案内を整備

・エレベーター聴覚障がい者緊急時対応ツールの運用（2022年度一部開始済）

・新国内線エリアのリノベーションに合わせて、自動運転モビリティ（WHILL）を導入（2022年度）

写真：・カームダウン・クールダウンスペース

お客様自身のタッチパネル操作で、保安検査場を通ってから目的の搭乗口まで移動することが可能。これにより、普段は案内所等で車いすを借りる方、長距離の歩行や体力に不安を感じられる方、ご高齢の方など、すべてのお客さまに気兼ねなく広い空港内を快適に移動いただける。

（５）2025年大阪・関西万博開催に関連する交通バリアフリーの取組【港湾施設】

港湾施設の取組を紹介する。

①天保山客船ターミナル整備（予定）

＜整備内容＞　※2024年４月供用開始予定

・世界水準の客船ターミナル整備を実施

・高齢者・歩行困難な乗客への配慮として、上下階の迅速な移動手段として、エスカレーター及びエレベーターを整備

・視覚障がい者誘導用ブロックの敷設、床等の踏み面は、滑りにくい仕上げがなされたもの

写真：ターミナルのイメージ

（６）2025年大阪・関西万博開催に関連するバリアフリーの取組【万博会場】

万博会場におけるバリアフリーの取組を紹介する。

①万博会場におけるバリアフリーの取組　 2025年日本国際博覧会協会

国・地域、文化、人種、性別、世代、障がいの有無に関わらず、訪れるすべての人が、会場内を同一の動線で移動し、不安や不自由なく過ごすことができ、様々な展示やイベントを楽しく鑑賞・観覧し、そして、火災等の災害時には的確な情報を得て安全に避難できる環境整備の実現を目的として、会場内の施設整備に関する共通の基準と考え方を示した「施設整備に関するユニバーサルデザインガイドライン（2022年3月(6月改定)）」に沿ってバリアフリー設備を含む施設が整備される。

ガイドラインの改定にあたっては、障がい等当事者、学識経験者等のメンバーによる検討会での議論等を反映するとともに、施設のバリアフリー整備にあたって、障がい当事者との意見交換を行いながら進めている。

図：パリビオン屋外空間の整備イメージ

図：パリビオン屋内空間の整備イメージ

②交通アクセスユニバーサルデザインガイドラインの作成　 2025年日本国際博覧会協会

国・地域、文化、人種、SOGIESC（※）、世代、障がいの有無に関わらず、大阪・関西万博を訪れるすべての人が、安全で快適に万博会場まで移動できる交通アクセスの実現に向け、関係する交通事業者等が参考とする指針とするガイドラインが策定（2023年６月）された。

このガイドラインについては法的拘束力はありませんが、本ガイドラインが万博のレガシーとなり、将来における交通関連施設の新設や改良、交通情報の提供などを行う際に役立てていただくなど、アクセシブルでインクルーシブな「まちづくり」への発展につながることを目指している。

策定にあたっては、学識経験者、障がい当事者、関係事業者等のメンバーによる検討会で議論し、合意に達した内容を盛り込んでいる。

※：SOGIESC（ソジエスク）とは、４つの性の構成要素（性的指向・性自認・性表現・性的特徴）の頭文字を並べたもの。

写真：交通アクセスユニバーサルデザインガイドラインの表紙

（参考）これまでの交通バリアフリーの取組

目次

●（参考）これまでの交通バリアフリーの取組

各事業者等がこれまでに取り組んでいるバリアフリー整備を紹介する。

1. 交通バリアフリー整備の例【鉄道（駅舎）】
2. 交通バリアフリー整備の例【鉄道（車両）】
3. 鉄道各駅のバリアフリー整備の達成状況
4. 交通バリアフリー整備の例【バス】【タクシー】
5. 交通バリアフリー整備の例【空港（空港施設）】
6. 交通バリアフリー整備の例【空港（エアライン）】
7. 交通バリアフリー整備の例【港湾施設（船内）】
8. 交通バリアフリー整備の例【港湾施設（ターミナル等）】
9. 交通バリアフリー整備の例【道路・交差点】
10. 交通バリアフリー基本構想

　　　　大阪市交通バリアフリー基本構想、バリアフリーマップについて紹介する。

1. 事業者への補助金

　　　　エレベーター、可動式ホーム柵、ユニバーサルデザインタクシー、大阪市高速電気軌道整備事についての補助金を紹介する。

①交通バリアフリー整備の例【鉄道（駅舎）】

●可動式ホーム柵

ホームからの転落事故や、列車との接触事故を防止し、視覚障がい者を含む全ての利用者のホームの安全性向上を図る。

写真：可動式ホーム柵

●エレベーター・エスカレーター

スムーズに上下階を移動できるよう、エレベータやエスカレータを設置している。

写真：エレベーター・エスカレーター

●段差・すき間対策

車いすやベビーカー等をご利用の方にもスムーズに乗り降りしていただけるよう、ホームと車両床面との段差・すき間の縮小を図る。

写真：段差・すき間対策

●内方線付き点状ブロック

内方線付き点状ブロックは、点状の突起に加え、ホーム内側部分に線状の突起を設け、ホームの端がどちら側にあるかを分かるようにするもの。

写真：内方線付き点状ブロック

●案内設備

駅全体の案内となる触知図やトイレ前の点字案内板・音声案内、駅出入口付近の音案内、ホーム上の旅客案内表示装置等を設置。

写真：音声案内付点字触知図

写真：旅客案内表示装置

●バリアフリートイレ

バリアフリートイレは、車いす利用者が利用しやすい空間及び設備の整備を行っているほか、オストメイト用水洗装置やベビーベッドを備え、さまざまな方にとって利用しやすいトイレである。

写真：バリアフリートイレ

●点字運賃表・点字券売機

点字対応の券売機や運賃表。車いす利用者に配慮し、つま先部分に蹴込みを設けた自動券売機もあります。

写真：点字運賃表・点字券売機

●幅広改札機

改札機の通路幅を通常より広くし、車いす利用者や大きな荷物をお持ちの方でも通行しやすくなっている。

写真：幅広改札機

②交通バリアフリー整備の例【鉄道（車両）】

●バリアフリースペース（車いすスペース、ラゲッジスペース）

車いすのベビーカーの方等広いスペースが必要な方が過ごしやすくなるよう、広い空間を車両に設けている。

写真：車いすスペース、ラゲッジスペース

●低床式車両

床が低い車両の導入を導入することで、ホームの段差隙間解消と合わせて、スムーズな乗降を可能にする。

写真：低床式車両イメージ（阪堺、Osaka Metro）

●転落防止幌

車両にゴム製の外ほろを取り付けすることで、ホームから車両の連結間へ転落する事故を未然に防止する。

写真：転落防止幌

●車両の案内表示

扉の上等に設置の案内表示器に停車駅、乗り換え案内などの文字情報を表示することで、視覚的に情報を提供している。

写真：車両の案内表示

　　③鉄道各駅のバリアフリー整備の達成状況

各社のバリアフリーに関するホームページURLを掲載している。

④交通バリアフリー整備の例【バス】

●ノンステップバスの導入

・車高が低く、乗り込みやすい

・車いすのまま乗り込めるスロープ付き

写真：ノンステップバス

●案内表示など

・車内の行先表示器をフルカラー化し、視認性の向上を図る。

・ベビーカー固定方法や優先座席案内のステッカーをバス車内に貼付

交通バリアフリー整備の例【タクシー】

万博開催時には、４台に１台がユニバーサルデザインタクシーとなることを目指し、取り組んでいる。

●ユニバーサルデザインタクシーの導入

・車いすのまま乗り込めるスロープ付き

・床が低く、天井が高いので乗り降りしやすい

・フラットな車内空間

・広いラゲッジスペース

⇒障がい者の方をはじめ高齢者や妊婦など誰もが利用しやすい車両となっている。

図：現在約6％、万博開催時約25％

写真：ユニバーサルデザインタクシー

⑤交通バリアフリー整備の例【空港（空港施設）】

●段差のない搭乗橋

床面の段差がないため、歩行者はもちろん、キャリーケースや車いすでも安全・快適に移動できる。

写真：段差のない搭乗橋

●階段の手すりの二段化

段違いの2本の手すりがあることで、身長の低い子どもや高齢者もつかみやすくなっている。手すりの上には行き先を表示した点字シールが貼られている。

写真：階段の手すりの二段化

●視覚障がい者誘導用ブロック

視覚障がい者の移動が円滑になされるよう、誘導用ブロックが敷設されている。

写真：視覚障がい者誘導用ブロック

●バリアフリートイレ

様々な人が利用できるバリアフリートイレが設置されている。

バリアフリートイレを補助犬も使用できるとしたり、補助犬専用のトイレがある。

写真：バリアフリートイレ

●カームダウン・クールダウンスペース

保安検査場等のいつもと違う環境になる場所に、気持ちを落ち着かせる場所として設置されている。

写真：カームダウン・クールダウンスペース

●案内カウンター

車いす利用者でも利用しやすいよう、低くなっていたり蹴込みがある。

写真：案内カウンター

●触知図

ターミナル入り口やトイレ前に触知図が設置されている。

写真：各トイレの入口に点字対応の案内板を設置

●光警報装置

普通の警報装置は音で知らせるのが一般的ですが、光で知らせることで聴覚障がい者の方へ火災報知器発報を知らせることができる。

写真：光警報装置

●障がい者等専用乗降場

駐車場や乗降場に障がい者等専用スペースがあります。

写真：障がい者等専用乗降場

⑥交通バリアフリー整備の例【空港（エアライン）】

●アシストシート

障がいなどの理由により、座位を保つことが困難なお客様用の着席補助シートを無料で貸し出している。

写真：アシストシート

●可動式肘掛け

機内には、車いすの乗り降りが容易に行えるように、通路側で肘掛けが可動式の座席がある。

写真：可動式肘掛け

●遠隔手話

専用のタブレット端末を通じ、オペレーターがお客様と空港係員のやり取りを手話と音声で同時通訳。

写真：遠隔手話

●受付カウンター

車いすを利用するお客様や、座ったままでお手続きをご希望のお客様に配慮した高さのカウンター。

写真：受付カウンター

●車いすで利用できるトイレ

化粧室のドアが大きく開き、車いすでも入りやすく、内部には補助用のハンドルが取り付けられている。

写真：車いすで利用できるトイレ

●車いすの貸出

機内座席まで車いすのまま入ることができる車いすや体の大きな方も利用できる車いすを借りることができる。クッション性にも優れた完全な非金属製の車いすです保安検査場の金属探知機もスムーズに通過いただける。

写真：車いす

●搭乗時、降機時のサポート

リフトが付いた空港内専用車。

タラップ使用の搭乗時に航空機の入口まで車いすにお座りいただいたままご案内する。

写真：搭乗・降機用リフト車、車いすに乗ったまま昇降できる、リフト付きタラップ

⑦交通バリアフリー整備の例【港湾施設（船内）】

船内において、様々な人が利用しやすいように整備されている。

●船内エレベータ　写真

●バリアフリー船室　写真

●ベビーケアルーム　写真

●バリアフリートイレ　写真

●バリアフリー浴室　写真

⑧交通バリアフリー整備の例【港湾施設（ターミナル等）】

大阪南港フェリーターミナル及びさんふらわあターミナル（大阪）では、駅から船までのバリアフリールートが確保されている。

⑨交通バリアフリー整備の例【道路・交差点】

●段差の解消

歩道に大きな段差や急な勾配があると、転倒の原因となる。そのような箇所については、段差を解消し、また勾配も緩やかに修正することにより、誰もが安心して歩くことができるみちへと改善する。

写真：段差の解消

●視覚障がい者誘導用ブロックの敷設

視覚障がい者誘導用ブロックは、視覚障がい者が施設の位置や方向、危険箇所などを知る道しるべ。駅から病院などの公共施設間を結ぶ経路などに設置している。

線状ブロックを並べて施設まで誘導するものと、歩道の街角部などにおいて点状ブロックを用いて注意を促すものがある。

写真：横断歩道部での整備例

写真：啓発用シール

●音の出る信号機（視覚障がい者用信号機）

目のご不自由な方のために、交通量が多い幅の広い道路は「カッコー」、交通量の少ない幅の狭い道路は「ピヨピヨ」の音で渡るタイミングをお知らせしている。

写真：音の出る信号機イメージ

●無電柱化の推進

道幅が狭い歩道では車いすと歩行者がすれ違いできない。整備後は通りやすくなり、点字ブロックも敷設され、安全に通行できるようになる。

写真：無電柱化の整備前後

⑩交通バリアフリー基本構想

●大阪市交通バリアフリー基本構想の策定

平成15年から平成18年にかけて、市内の主要な駅を中心に25地区において「大阪市交通バリアフリー基本構想」を策定し、鉄道駅舎や駅周辺の主要な生活関連施設に至る道路等の重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進している。

写真：基本構想策定25地区位置図

●基本構想策定地区のバリアフリーマップの作成

障がいのある方や高齢の方、小さなお子さまを連れた方に安心して外出いただけるよう、大阪市交通バリアフリー基本構想策定地区における主要な経路、生活関連施設、鉄道駅のバリアフリー等に関する情報を取りまとめ公表している。

写真：梅田地区駅周辺バリアフリーマップ拡大図

⑪事業者への補助金

●鉄道駅舎エレベーター等設置補助金

障がい者や高齢者等の移動の円滑化及び、ひとにやさしいまちづくりの促進を図ることを目的として、鉄道事業者が既存駅舎に行うエレベーター等の整備に対して、補助金を交付する。

●可動式ホーム柵等整備補助金

鉄道利用者の安全を確保するため、民間鉄道駅を対象に可動式ホーム柵等整備事業に対し、補助金を交付することにより、整備を促進している。

●ユニバーサルデザインタクシー補助金

ユニバーサルデザインタクシーの普及促進に向けた補助制度を創設し、あらゆる人が安全・安心に移動できる環境整備に取り組んでいる。

●大阪市高速電気軌道整備事業費補助

大阪市高速電気軌道株式会社が行う安全対策やバリアフリー化等に対して補助金を交付し、その整備を促進している。